

山寺と紅花

—伝承された文化の再発見—



2月16日(土)

山寺・立石寺の歴史と文化

清原 正田 氏 (宝珠山立石寺 貫主)



2月23日(土)

紅の譜系・紅花交易が育んだもの

—山寺芭蕉記念館で見る(山)長谷川コレクション—

長谷川 吉茂 氏 (山形銀行 代表取締役頭取・(山)長谷川家当主)



3月10日(日)

奥の細道・山寺からの発信 —もう一つの日本—

山本 陽史 氏 (山形大学学術研究院教授・放送大学客員教授)

- 時 間：午後2時から3時30分まで(共に受付は午後1時から)
- 会 場：山寺芭蕉記念館 研修室1
- 受 講 料：各回500円
- 受講定員：各日100人(先着順で定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください。)
- 申し込み：山寺芭蕉記念館まで

電話(023-695-2221)またはFAX(023-695-2552)で「お名前、お電話番号、参加日」をお知らせください。

主催 山寺芭蕉記念館指定管理者 公益財団法人山形市文化振興事業団
協力 宝珠山立石寺、山形銀行、山寺観光協会

後援 山形市教育委員会

2月16日(土)



山寺・立石寺の歴史と文化

清原 正田 氏 Kiyohara Seiden

◇山寺・立石寺は貞観2年(860)円仁によって開山され、鎌倉・室町時代の発展、室町末期の戦火、最上義光時代の庇護などの盛衰を経て歴史を刻んできた。その中で、様々な宗教文化・宗教美術の貴重な文化財の蓄積があった。立石寺が山形の文化に及ぼした影響やその重要性を探る。

〔講師のプロフィール〕

昭和24年(1949)、東京都生まれ。昭和36年、得度し僧侶となる。昭和46年、天台宗の僧侶としての所定の修行である四度加行終了。昭和53年、立石寺に入山。平成23年12月、立石寺70代住職拝命。平成24年4月、50年振りの根本中堂御開帳奉修。山寺観光協会会長。

2月23日(土)



紅の譜系・紅花交易が育んだもの

—山寺芭蕉記念館で見る⑩長谷川コレクション—

長谷川 吉茂 氏 Hasegawa Kitishige

◇江戸時代に盛んとなった紅花交易の実態や紅花商人の活躍を、長谷川家の歴史を中心に解き明かす。また、長谷川家の現在に至る系譜をたどりながら、紅花屏風など長谷川家によってもたらされた美術品、文化財の解説を通して、紅花交易が山形の文化・経済に及ぼした影響を明らかにする。

〔講師のプロフィール〕

昭和24年(1949)、山形県生まれ。⑩長谷川家当主。東京大学経済学部卒業。(株)山形銀行頭取、(一社)山形県銀行協会会長。

山形県の各政策・産業振興等の方向性を示す、山形県総合政策審議会委員、山形県産業教育審議会会長、山形県産業構造審議会会長、山形県文化推進委員会委員長などを兼任し、主導的な役割を果たしている。加えて、山形県EU協会会長、山形大学顧問、山形美術館評議員、山形市文化振興事業団理事、山形交響楽協会理事、裏千家今日庵老分、茶道裏千家淡交会東北地区長・山形支部長なども務め、教育・芸術・文化分野への造詣も深い。

2013年藍綬褒章受章、2014年ベスト・バンカー賞受賞(金融ジャーナル社選定)、2018年山形県産業賞受賞。

3月10日(日)



奥の細道・山寺からの発信 —もう一つの日本—

山本 陽史 氏 Yamamoto Harufumi

◇松尾芭蕉が「奥の細道」の旅の途上、当初予定していなかった山寺を訪れたが、芭蕉の心を動かした魅力は何だったのか、山形の自然環境や文化的背景の面から再確認する。また、これらのもう一つの日本ともいえる魅力を、芭蕉が確立した俳文学、更には外国語俳句の広がりも含めて世界に発信する方策を考える。

〔講師のプロフィール〕

昭和34年(1959)和歌山県生まれ。東京大学大学院で近世日本文学を専攻。現在、山形大学教授(エンロールメント・マネジメント部主担当)。放送大学客員教授・山寺芭蕉記念館運営懇談会委員・日本世間学会代表幹事・国文学研究資料館地域資料専門部会委員・日本トランペット協会常任理事・眺海の森音楽祭実行委員。イタリア・ボローニャ市と交流する市民の会「チェントロ・ポルティコ」顧問。ボローニャで俳句ワークショップ等を開催。2005年山形県松山町(現酒田市)文化功労表彰、2014年山形市市政功労表彰(教育・文化等)。

著書に『なせば成る!』『江戸見立本の研究』(共に共著)『東北から見える日本』、論文に「東日本大震災と世間」。映像作品(脚本)に『奥の細道 百代の過客』『階は長にして』(出羽三山開山1400年記念番組)など。山形新聞連載「やまがた再発見」寄稿者。読売新聞山形版に「やまがたを旅した人びと」を連載中。2017年酒田市立松山小学校校歌を作詞。

FAX用 お申し込み用紙 (FAX023-695-2552)

ふりがな お名前		お電話	
ご参加の回に○印をお願いします。		2/16	2/23 3/10